

デング熱とは、デングウイルスを保有する蚊に刺され、感染しておこる急性の熱性感染症です。

感染は蚊を介して起こり、ヒトからヒトに直接感染することはありません。主な媒介蚊はネッタイシマカ（日本には常在していません）ですが、日本でみられるヒトスジシマカも感染を媒介します。ヒトスジシマカの概ねの活動時期は、5月中旬～10月下旬頃です。

潜伏期間は2～14日（多くは3～7日）、主な症状は、突然の高熱や頭痛、眼の奥の痛み、結膜の充血、全身の筋肉痛や関節痛です。発症後3～4日程すると皮膚に発疹が出現しますが、症状は1週間程度で快復します。また、感染しても症状が出ないことも多くあります。デングウイルスに対する原因療法はなく、治療は対症療法になります。デング熱の予後は良好ですが、ごくまれに、出血症状を発症し致命的な状態になる場合があります。

万が一、心当たりがある場合は医療機関を受診するようにしてください。（自己判断で解熱剤を服用することはやめましょう。種類によっては、出血症状の引き金になる場合があります）

東南アジアや中南米等の海外の流行地に出かける時には、長袖や長ズボンを着用するなどして、蚊に刺されないようにしましょう。デング熱に有効な予防接種はありません。

詳しくはこちら≫

国立感染症研究所（デング熱とは）

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/238-dengue-info.html>

厚生労働省（デング熱に関する Q&A）

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dengue_fever_qa.html

厚生労働省検疫所

<http://www.forth.go.jp/>